

科目名	東アジア比較開発 A	科目コード	1561	単位数	2
担当者名	田村 亨	開講セメスター	第1セメスター	開講年次	1年次

● **授業のねらい**

今世紀の世界は、圧倒的の大多数の中所得国で構成され、これらの中所得国が高所得国に仲間入りしようと猛烈な競争をする時代になる。OECD の経済成長率は2050年に2倍にしかならないが、アジアとアフリカを中心とする非先進国の成長率は5倍にもなる。本講義は、東アジアを対象に、開発経済論・国土計画論の研究分野から、地域開発手法を理解するとともに、北海道開発手法を非先進国にどのように援用すべきかを議論する。また、わが国の地域計画に関わる課題を国際比較の中で解いて、実践的な課題解決能力を身につける。

● **到達目標**

- ・東アジアが抱える経済発展上の課題を理解する
- ・開発経済と国土計画に関わる基礎理論を理解して、用語を的確に使える
- ・北海道開発手法を東アジアへ適用する場合の課題を理解する
- ・以上を踏まえて、国際社会における多様な価値観や世界観を理解し、国際的視野に立つ異文化コミュニケーション能力を身につける

● **授業内容**

- 1週目 なぜ、都市ができるのか
- 2週目 人々の暮らしを支える地域
- 3週目 現在の地域問題とは何か
- 4週目 地域開発手法の進化
- 5週目 地域開発の基本的な制度
- 6週目 E U 統合と中国市場、安い労働力と多国籍企業（世界の中の東アジア）
- 7週目 地球環境問題（世界の中の東アジア）
- 8週目 戦後日本の経済発展
- 9週目 戦後日本の社会資本整備
- 10週目 北海道開発の歴史
- 11週目 北海道開発の今後の展開
- 12週目 産業連関分析（地域開発手法）
- 13週目 仮想的市場分析手法（地域開発手法）
- 14週目 仕組み、財政、人材（北海道開発手法の東アジアへの適用）
- 15週目 制度、手続き（北海道開発手法の東アジアへの適用）
- 16週目 東アジアの開発について + 試験

● **準備学習(予習・復習)等の内容**

授業は、「講義」と「ケース・ディスカッション」から構成され、与えられた課題について討論するため予習が必要となる。また、授業中に、小テストを行い、理解を確認する機会を設ける。以上に対応するため、週3時間の予習と復習を行うこと。

● **成績評価の方法・基準**

ケース・ディスカッションと小テスト（40%）、期末試験（60%）で評価する

● **履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法**

公表データを用いた具体的な実証分析が求められる。授業の各回において、小テストを実施する。

● **テキスト**

講義時に資料を配布する

● **参考書**

なし

● **更新日付**

2019/03/02 02:34